

kaneko art gallery

塩見章展

2020.11.6 - 11.23

塩見 章 (Akira SHIOMI)

略歴

1949年 山口県に生まれる

1972年 東京芸術大学油画科卒業

1974年 MMG版画工房にアートディレクターとして勤務

2007年 工房解散により退職 油画や水彩画を描き始める

2014年 小杉画廊にて個展 16年、18年にも同画廊にて

その他、グループ展など多数



「201012」

2020年

水彩

33.5 × 24.5 cm
(額 50.9 × 39.4 cm)



「20103」

2017年

水彩

32.0 × 22.5 cm
(額 50.9 × 39.4 cm)

白い紙に絵の具を含ませた筆でぽつんと点を描いてみる。

白い画面の均衡が崩れる。

別のところに色をたっぷりと乗せてみる。

色を変え、大きさを変え、濃淡を変えながら絵の具を乗せていくと、

初めはランダムに置かれていた色面は、次第に引きつけ合い、

あるいは反発し合い、

響き合って少し揺れているようだ。

色彩が響き合い画面が輝きはじめることを祈りつつ、

さあ、これからが本当のスタート。

塩見 章



「1855」

2018年

水彩

35.0 × 26.0 cm
(額 50.9 × 39.4 cm)



「17104」

2017年

水彩

31.0 × 24.0 cm
(額 50.9 × 39.4 cm)

塩見章さんの作品を最初に拝見したのは、
当ギャラリーのオープニング展のときでした。
柔らかな作風と、暖かな美しさに惹かれ、
いつか展示をお願いできたらと考えておりました。
制作のアトリエが、比較的近隣にあると伺い、
作品を直に拝見できるのを楽しみにしていました。
実際に作品と対峙してみて、作品から伝わってくる
ものの豊かさに、とても大きな可能性を感じました。
観る人それぞれの見方、感じ方で、その豊かな
世界を味わっていただけたらと思います。

kaneko art gallery